

10/02/18
中国新聞

back

国際交流これからも

広島文化財団 奨励賞3人表彰

広島国際文化財団（山本信子理事長）の「第12回国際交流奨励賞」の表彰式が17日、広島市中区の中国新聞ビルであった。財団の評議員が、国際交流や平和活動で活躍する3人に、表彰状と奨励金

10万円を贈った。

受賞した福山市の能楽師大島衣恵さん(35)は2009年12月、英国ロンドンなど欧州4都市で英語能を公演した。表彰式で大島さんは「伝統芸能は外国人の心にも届くと分かっ

動画は中国新聞Happy
読者会員限定

た。多くの人が能に親しめるよう活動を続けたい」と決意を新たに

した。14年前から毎夏、平和記念公園（中区）の原爆供養塔を清掃しているフランス人オディール・ルオーさん(75)は、知人の画家山本美次さん(61)は廿日市市

IIが代理で出席。ルオーさんの「心の中の平和の種を育てるのは私たちです」とのメッセージを紹介した。東区出身の中山実生さん(32)は、インド南部に路上生活の子どもを支援する学校を設立し、子どもと原爆劇の上演を続ける。中国新聞の海外リポーターも

務めている。代理出席した大学教授の父岡崎仁史さん(62)は「娘が広島で得た学びをインドで伝えることは、親としても誇りだ」と喜んだ。

受賞者は、中国新聞と中国放送が09年に報道、制作した記事や番組計18件から選ばれた。（衣川圭）



評議員から表彰状を手渡される和服姿の大島さん。奥右から岡崎さん、山本さん